

教 育 相 談

(小・中・高教員対象：定員 60 名)

時 間	内 容	講 師
9：20～9：30 (10分)	ガイダンス	にしにけんじ 西谷健次
9:30～10:50 (80分)	中学生・高校生の問題行動の現状とその対応	西谷健次
	中学生・高校生の問題行動の現状を統計資料に基づきながら概説し、その背景について考察していく。中学校と高等学校では、必要とされる具体的な対応方法に違いはあるが、教育相談として求められる視点は共通している。背景の理解を通して、教育相談の基本に立ち返っていただきたいと考えている。	
休憩 (10分)		
11:00～12:20 (80分)	相談技法の基本	西谷健次
	ロールプレイを通して、相談技法の基本を再確認していただく。日常の教育活動の中で相談技法は活用されているだろうが、往々にして、「自己流のクセ」がついてしまっているものである。今一度、相談技法の基本に立ち返っていただき、「自己流のクセ」を矯正していただけたらと考えている。	
12:20～12:40 (20分)	テスト	西谷健次
昼休み (50分)		
13:30～14:50 (80分)	集団を対象とした心理教育実践のワークショップ	まき ひろお 牧 裕夫
	『生徒指導提要』(p. 109) では教育相談で活用できる新たな手法として、ソーシャルスキルトレーニング、アサーショントレーニング等が紹介されている。学校場面を想定しこれらをどう活用してゆけるのか、講義者の実践を紹介する中で、来年度から「道徳科」の授業導入されることも含め受講者それぞれの現場での活用について意見交換を行う。	
休憩 (10分)		
15:00～16:20 (80分)	学校における教育相談の特質 (講義者の実践をとおして)	牧 裕夫
	講義者の実践から「不登校」「虐待」「発達障害」「緊急支援」での体験を対象者のプライバシー保護を踏まえ、どのような課題があり、それがどう変化していったのか、そこで何が起こっていたのかを中心に紹介する。午前中での講義の内容を踏まえて『生徒指導提要』(p. 92-93) に記載されている「学校における教育相談の特質」の諸項目にそって意見交換をとおして学校ならではの可能性を探る。	
16:20～16:40 (20分)	テスト	牧 裕夫
16:40～16:50 (10分)	アンケート	牧 裕夫